



ふじさわ体協

「藤沢市体育協会広報」第39号

発行日 平成10年7月31日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市鶴沼東8-2

「かながわ・ゆめ国体」開催間近!!

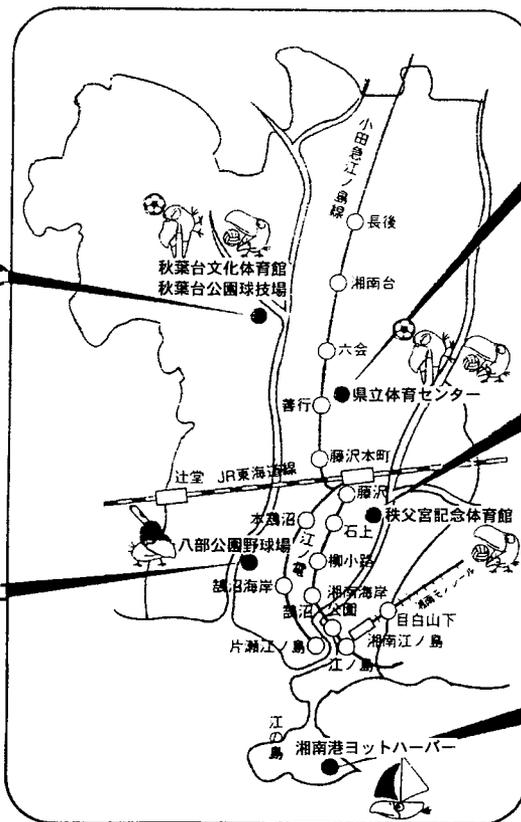
いよいよ、第53回国民体育大会かながわ・ゆめ国体の開催が間近に迫ってきました。藤沢市においては、江ノ島の湘南港ヨットハーバーのヨット競技を皮切りに、サッカー・バレーボール・軟式野球の4競技が開催されます。

大会期間中は、全国から三千人余りの役員・選手をはじめ、国体を観戦しに大勢のみなさんが、藤沢に集まってきます。

選手たちが普段の実力を十分に発揮できるように温かく迎え、新しい出会いと交流の輪を広げましょう。

サッカー競技
10月25日・26日
バレーボール競技
10月25日～28日
小田急線湘南台駅西口及びJR辻堂駅北口付近よりシャトルバス(無料)を運行予定

軟式野球
10月25日～28日
小田急線鶴沼海岸駅より徒歩10分または、JR藤沢駅北口より鶴沼車庫行のバス(有料)に乗り、鶴沼運動公園前で下車徒歩1分



サッカー競技
10月25日～29日
バレーボール競技
10月25日・26日
小田急線善行駅東口より徒歩5分

バレーボール競技
10月25日～28日
JR及び小田急線藤沢駅南口より徒歩10分

ヨット競技
9月12日～15日
小田急線片瀬江ノ島の島駅付近よりシャトルバス(無料)を運行予定

種目協会 あらかると

スポーツ界を支えている
底辺での競技者達

藤沢市柔道協会

近年、どのスポーツにおいても底辺での競技者人口の減少が深刻な問題であるが、柔道界でも厳しい状況にある。

10年前までは、少年柔道大会を開催すれば400人近く参加が見込まれていたが、現在は220〜230人と約半減している。しかし藤沢市の道場の先生方は何とかくい止めようと必死に努力している。ただ一つ小学生で必死に頑張っている。中学に部活として柔道部がないため、そこで柔道ばなれがすすんでしまっている。

藤沢市のように、一つの市内で10道場もある市は全国的にみてもめずらしく、又それだけ道場があるのに、

中学で柔道部がないところもまた、めずらしい。

昨年、部はないが、学校の先生の引率という形で六会中学校の比留川清香選手（三田道場）は、中学二年生で全国大会に出場し、3位という優秀な成績をおさめた。

このようにほかにも全国大会に出場してもおかしくない優秀な選手が、市内にはたくさんいる。

柔道部を全中学に発足させることはむずかしいと思うが、もっと楽な形で中体連の試合に参加できるように、これからも我々柔道協会や、各

道場主が努力していく一方、これらの現状をふまえていただき、教育委員会や、現場の先生方にもご協力をお願いしたい。

いっしょうけんめいに必死で柔道に取り組んでいる

子供達の
ためにも!!



本年度新規加盟

アーチェリー協会の紹介

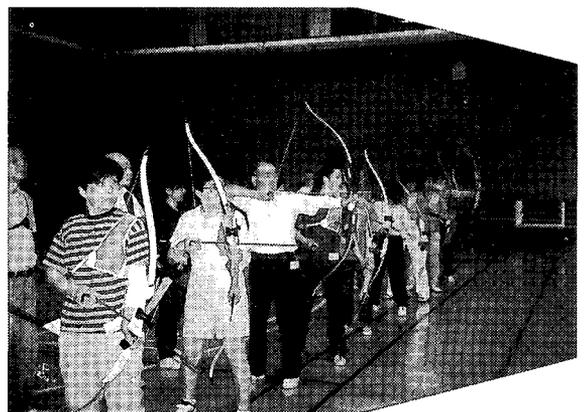
古代、狩猟用の道具であったアーチェリー。中世より貴族のスポーツとして発展し、今ではオリンピックやパラリンピックの正式種目となりました。

藤沢市に於いても10年前より初心者アーチェリー教室が開講され、その卒業生で構成するアーチェリークラブを統括した藤沢市アーチェリー協会は昨年発足致しました。

アーチェリーは弓を使い数10M離れた的に矢を放ち、一番当たった人が勝ちという単純明快な競技で、屋外（90M〜30Mのターゲット。野山で行うフィールド）と室内（25M・18Mのインドア）のどちらでも楽しめる全天候型のスポーツです。

また、これまでに運動に縁の無かった人や体力に自信の無い人でも、体力に合った道具を選択出来、老若男女が親しめる生涯スポーツです。

今年度より協会主催のアーチェリー教室を含め年間5回の講習会が行われます。みなさんも矢を放つ開放感、的の真ん中に当たった時の達成感を味わってみませんか。



平成 9 年度収支決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	収 入 済 額	増 減	説 明
体 協 費	16,025,000	16,343,981	318,981	
体 協 費	16,025,000	16,343,981	318,981	
補 助 金	5,648,000	5,648,000	0	
委 託 料	8,036,000	8,036,000	0	
賛 助 会 費	1,600,000	1,737,000	137,000	個人269口 団体93口
負 担 金	562,500	575,300	12,800	
繰 越 金	174,505	174,505	0	前年度より繰越金
雑 収 入	3,995	173,176	169,181	預金利子、祝勝会残

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	支 出 済 額	不 用 額	説 明
体 協 費	16,025,000	15,870,301	154,699	
運 営 費	16,025,000	15,870,301	154,699	
事 務 局 費	2,780,000	2,731,232	48,768	
事 業 費	12,308,000	12,239,069	68,931	
積 立 金	900,000	900,000	0	特別会計積立金
予 備 費	37,000	0	37,000	

収 入 済 額 16,343,981円
 支 出 済 額 15,870,301円
 差 引 金 額 473,680円 (平成10年度へ繰越)



平成 10 年度収支予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	15,310,000
体 協 費	15,310,000
補助金及び交付金	5,182,000
委 託 料	7,430,000
賛 助 会 費	1,650,000
負 担 金	567,000
繰 越 金	473,680
雑 収 入	7,320

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	15,310,000
運 営 費	15,310,000
事 務 局 費	2,580,000
事 業 費	11,805,000
積 立 金	900,000
予 備 費	25,000

平成十年度「事業計画」

藤沢市体育協会では、スポーツ団体の連絡調整を図り、市民スポーツの普及振興のため、次の事業を展開します。

一、評議員会・理事会・常任理事会の開催

二、藤沢市体育協会の組織運営に関する研究(専門部会の強化・活動)

三、藤沢市委託事業の実施

(一)第53回藤沢市民総合体育大会開催

(二)第49回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選手派遣

(三)スポーツ人の集い講演会の開催

四、加盟種目競技協会への補助金交付

五、第14回「スポーツ人の集い」開催

六、藤沢スポーツ賞(功労者・優秀選手、敢闘選手)の表彰並びに各種表彰に関する事業

七、県外スポーツ交流推進の助成事業

八、スポーツ施設の拡充

九、賛助会員の拡充

十、広報紙の編集・発行に関する事業

十一、体育史の編纂に関する事業

十二、第53回国民体育大会の推進、協力

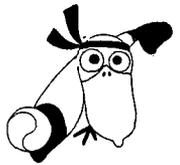
十三、種目協会会長会開催

十四、スポーツ関係団体との連携充実

十五、その他体育協会の目的遂行に必要な事業

みなさまのご協力で更に本会が発展できますようお願い申し上げます。

がんばれ！山口投手



去る3月21日・22日・23日の三日間、東京都江戸川区江戸川球場、臨海球技場で行なわれた第16回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会に於いて、優勝候補と目されていた神奈川県立厚木商業高校が、三年ぶり三度目の優勝を飾りました。



5試合連続無失点の快投の山口投手

今大会すべて無失点で投げぬいたエースの山口彩さんは、ご両親と弟さんの四大家族で、藤沢市本鶴沼に住んでおり、藤沢市立鶴沼中学校から、ソフトボールの名門校県立厚木商業高等学校へ進学、片道一時間三十分かけて通学しています。

鶴沼中学のソフトボール部の顧問川添先生は、「自分の学校出身者が、

全国の強豪を相手に優勝したということは、素晴らしいことですし、私自身ともうれしい。」と山口投手の活躍を喜んでおられました。

今大会の山口投手の優勝までの足跡を振り返ってみると、初回戦の新居浜商業戦では、投球数67、奪三振7、内野ゴロ6、内野飛球4、外野フライ2の完全試合を達成、続く2回戦、山形北高校に対しては、前半の大量リードで途中交替、準々決勝札幌東商業には、14奪三振の二安打完封、準決勝の夙川学院にも、13奪三振三安打の完封と、ついているスキを見せず決勝戦へ駒を進めました。

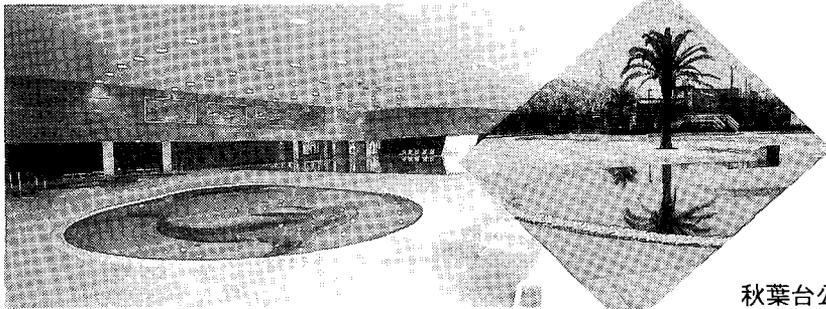
決勝戦大阪国際大和田に対しても、連投の疲れも感じさせず、10奪三振、二安打の完封と圧倒しました。

「中学の時は、関東大会の一回戦で涙を呑んだので、高校へ行ったら、どうしても全国大会に出場したいと願っていました。それが今回全員の力で優勝できたので、大変うれしく思います。今後はかながわ・ゆめ国体にむけて、さらに精進して頑張ります。」と力強く語ってくれました。

山口選手の今後の活躍を期待する

とともに、かながわ・ゆめ国体女子ソフトボール高校の部へのみなさまの温かいご声援をお願い致します。

藤沢の北と南に プール増設



八部公園（室内プール）

秋葉台公園（屋外プール）

どうぞご利用下さい



賛助入会の お願い

皆様におかれましては日頃賛助会員制度の趣旨をご理解いただき、多くの方々に賛助会員になっていただきありがとうございます。

平成10年度も入会手続きをしておりますので、是非ご支援を賜り引き続きご加入又は、新たにご加入下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

梅雨のむし暑さに閉口しながら、何とか紙面作りを終え、皆様のお手もとに「ふじさわ体協」第39号をお届けすることができました。

「藤沢市体育協会」って何をしているところ、という疑問に少しでもお答えできたらと思ひ、一生懸命作りましたが、時間や紙面の都合と、不慣れなため、その思いが伝わったかどうか不安です。

これからも、皆様に親しんで読んでいただけるよう、また、ご理解いただけるよう、委員一同頑張ります。

編集委員 諸節・広瀬理事